

ご来場の皆さま、本日は東北大学交響楽団第 162 回定期演奏会にお越しいただき誠にありがとうございます。

そして 2011 年 3 月 11 日の東日本大震災で犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

震災直後は当団も様々な困難に直面し、その年には定期演奏会の開催自体が危ぶまれることもございました。そんな中、今日まで欠くことなく演奏会を行うことができたのは、当団の活動を支援して下さる方々、そして恐れ多くも当団の演奏会を楽しみにしてくださっているというお客様の声があったからに他なりません。あの震災から当団は 7 度目の定期演奏会を迎えます。同じ日同じ場所で皆様と音楽を共有出来ることに改めて感謝し、その気持ちを少しでも演奏で皆様にお届けできれば我々にとってこれ以上の喜びはございません。

さて、この度の定期演奏会は 1 年半ぶりに当団常任指揮者の石川善美先生をお迎えしての演奏会となりました。今回皆様にお届けするのはブラームスの大学祝典序曲、モーツァルトの交響曲第 41 番「ジュピター」、そしてドヴォルザークの交響曲第 9 番「新世界より」と、名曲揃いのプログラムになっております。石川先生の表現豊かな指揮とオーケストラが紡ぎ出す各曲の響きをご堪能ください。

最後になりますが、今回指揮を振っていただく石川善美先生、練習においてご指導賜りました諸先生方、トレーナーの先生方に厚く御礼申し上げます。また、東北大学学友会文化部長の末光眞希先生、当団同窓会副会長にして東北大学名誉教授の高坂知節先生におかれましては、震災後に練習場を失ってから現在に至るまで当団の練習場の確保にご尽力を賜っております。この場をお借りして深謝申し上げます。そして、当団音楽顧問の菊地健夫先生には音楽面での指導にとどまらず、運営面においても学生では力の及ばない点にまで多大なご助言ご助力をいただきました。心より御礼申し上げます。

それでは、伝統ある当団の演奏をごゆっくりお楽しみください。